

『はしもとみお×安田佳弘トークショー』

いなべ市フェア in 東京

日時：平成 27 年 3 月 20 日(金曜日)から 3 月 22 日(日曜日)

場所：三重テラス

(東京都中央区日本橋室町 2-4-1 浮世小路千疋屋ビル YUITO ANNEX2 階)

【出演】はしもとみお

兵庫県生まれ、三重県いなべ市在住。東京造形大学美術学部彫刻専攻 卒業、愛知県立芸術大学美術研究科彫刻専攻 卒業。“生”をテーマに動物の肖像彫刻を手がける、命の輝きを伝える彫刻家。世界各国からの制作依頼のほか、展覧会やワークショップ、絵本など多方面で活動中。絵本「神様のないた日」全国のタリーズコーヒー店舗にて発売。

【出演】安田佳弘

大阪府生まれ、三重県いなべ市在住。西日本ナンバー1 キャンプ場「青川峡キャンピングパーク」チーフキャンプライフクリエイター。遊び心満載の大人気イベントやワークショップの開催ほか、チラシやポスターなどのデザインも担当。自宅では自然志向のカフェを経営、家族と自給自足の生活を送る。

【ナビゲーター】岩寄いづみ

F. PRIMAVERA 代表として、「自分の進化を楽しもう！」を基本軸とし、各企業ニーズに合わせたプログラムを構成し人材育成に携わる。また、東京都中央区の FM コミュニティラジオ局で2つの番組のナビゲーターを務めながら、「ヒト・コト・モノ・オト」にフォーカスした取材活動を展開中。各地で行われるイベントの司会やファシリテーターとしても活動の場を広げている。

平成 27 年 3 月 22 日(日曜日)に日本橋三重テラスで実施された『いなべ市フェア in 東京』の企画で『いなべ市への移住者による対談』を行いました。東京中央 FM ナビゲーター岩寄いづみさんの進行のもと行われたトークショーです。ぜひご一読ください。

2人の移住したきっかけについて

【岩寄】今回のトークショーはいなべ市在住の『はしもとみおさん(彫刻家)』と『安田佳弘さん(チーフキャンプライフクリエイター)』に、お話を伺います。それぞれ、いなべ市での毎日を本当に楽しんでいらっしゃるようです。そのライフスタイルといなべ市の魅力を教えていただきましょう！まず安田さん、お願いします。



中央 FM パーソナリティの岩寄いづみさん



チーフキャンプライフクリエイターの安田佳弘さん

【安田】僕は12年くらい前に大阪から移住しました。大阪で美術大学に在籍していましたが、将来美術で仕事に就くか、または所属していた探検部での海外や無人島の探検活動を活かして、自然を仕事にするかという点で悩んでいたんですね。どんな仕事があるか調べている時に、いなべ市の『青川峡キャンプパーク』がスタッフを募集していましたので、問い合わせたら1週間後には来て下さいと言われ、キャンプ場のスタッフとして働くことになりました。5年住んでやっと

空き家を紹介してもらい、今は森の中で自給自足みたいな生活をしながらキャンプ場で働いています。

【岩寄】なるほど。5年かかってやっと空き家を紹介していただいたんですね。

【安田】5年かかってやっと紹介してもらいました。あと僕は猟師なので、鹿や猪を狩ったりしますし、家ではヤギと鶏を飼っています。あとミツバチを飼って蜂蜜をとったりもしています。

【岩寄】なるほど、ヤギやミツバチも飼っている自給自足の生活であると。はしもとみおさんのいなべ市に住むに至った理由を教えてくださいませんか。

【はしもと】私はたまたま美術関係の仕事をしている御夫婦の知り合いがいて、その人に私が名古屋のアトリエが手狭になってきたな—という話をしていたんですよ。彫刻に囲まれながら7畳半のアトリエ1つで仕事をしていたんです。手狭だな—という話をしていたらご夫婦が『うちの实家そういえば空いたなあ』みたいな話を下さって。それで不動産屋さんを通さずに直接、そのご夫婦といなべ市の家を見に行ったんです。その時にロケーションに一目ぼれしまして、その日に決めちゃって。

【岩寄】一目ぼれして？

【はしもと】ただの一目ぼれです。

【岩寄】その日に決めたなんてすごい決断力ですね。いなべにはご家族で住んでらっしゃるんですか？

【はしもと】はい、主人と柴犬の月くんと。

【岩寄】安田さんもご一家ですか？

【安田】僕もご一家ですね、はい。



彫刻家のはしもとみおさん

いなべ市に移住して



スライドショーを見ながらお互いの話を聞き合う

【岩寄】 実際いなべ市に移住してみて、どのようなことを感じますか？

【はしもと】 とにかく生き物の気配がするんですね。声はしますし、庭の土は穴だらけですし。まあ、おそらくもぐらでしょうね。あと、周りの方のさりげない温かさを感じますね。

【岩寄】 さりげない温かさといいますと、どんなことがあったんですか？

【はしもと】 朝起きたら庭にバジルが植えてあったり、ホワイトデーの朝には火鉢が何台も軒先に置いてあったり。これはホワイトデー事件と呼んでいます。

【岩寄】 火鉢が置いてあったり、バジルが植えてあったりなんて驚きですね。

【はしもと】 はい。それからおじいちゃん達が、『わし、ここに住んでおった人知つとるぞー』って言って遊びにきたりとか。おそらく、もともと住んでいた方の親戚の方が、良かれと思ってしてくれることが多いんですね。見守っていただいています。

【岩寄】 そうですか。それは素敵ですね。

いなべ市は実は名古屋や京都、大阪からも近いんですよね？

【安田】 はい。あの写真(会場に展示してあるいなべの山の写真)のすぐ下には町があるので、いなべは田舎と町のいいところどりの感じですね。大阪とか京都とかにも 2 時間くらいで行けますし、名古屋なら 1 時間くらいで行けますね。

2人のライフスタイルについて



安田佳弘さんの住居と併設のカフェ

【岩寄】いなべ市は都会にも近くて、田舎と町のいい所どりなんですね。(スライドショーを見ながら) お二人共、自然に囲まれての毎日ですね。ここでいなべの自然の魅力を教えてください。

【安田】僕は森の中で自給自足みたいな生活をしているんですが、最近よくスローライフという言葉を目にしますよね。



薪割りをする安田佳弘さんと息子の風くん

メディアではスローライフっていいな、のんびりと暮すってというような雰囲気がたぶんあると思うんです。僕ももちろんそういう風に思っていたんですが、実際田舎暮らしを全て手作りでやろうと思うとすごく時間がかかるんですね。僕お風呂を薪で焚いてるんですけど。

【岩寄】お風呂は薪で焚いているですか？安田さんのお家は。

【安田】薪なんです。はい。1日2時間くらいかかるんですね、お風呂焚くのに。薪も、夏場に植木から薪を割って、暖房も薪ストーブなので、薪の量がすごくいるので家に帰ってもする事がたくさんありますね。

【岩寄】普段は忙しくないですか、逆に。スローライフと言えども。

【安田】すごく忙しいです。もう、B-DASH ライフです。

【岩寄】B-DASH ライフですか。そしてカフェもしているとか。

【安田】家の敷地の隣に、基礎から奥さんと2人で1年くらいかけてお店を作って、今ここでカフェをやっています。

【岩寄】そこではどんなものを出しているんですか？



安田佳弘さんの営むカフェ「MY HOUSE」の店内

【安田】猟で獲れた鹿の工芸品とか、自宅で飼っているミツバチの蜂蜜を使った焼き菓子とか、季節によって様々ですね。あとはキャンプ場でのイベントで、僕の家フィールドまで案内して、ヤギを見せて、暮らしぶりを見せて帰ってくるというようなガイドもしたりしています。

【岩寄】なるほど。スローライフとは言え、すごくお忙しいということなんですけども。さて、はしもとみおさんは毎日どんな暮らしぶりを？

【はしもと】私は毎日動物と楽しく戦っていますね。鹿が出たり、お猿が出たり、猪が出たり。本当にスローじゃなく忙しいですけど、やっぱり私にとっていなべ市の自然とか動物たちって、最高のモチーフなんですね。

あと制作に打ち込んでいると朝から晩まで誰とも会わない日がほとんどなんですね。なので逆にネット回線だけはすごく高速のものを引いていて。

【岩寄】なるほど。

【はしもと】なので安田さんとすごい間逆な生活をしているんです。私はアマゾンで買い物をして、スカイプを繋いで東京と会議をしたりします。そういうのって今だと田舎でも出来ちゃうんですよ。



柴犬の月くんとはしもとみおさん宅

お互いの生活を比べて

【岩寄】そうですね。田舎に住んでいながらにして実は案外都会

と変わらない生活が出来るとですね。さてお二人とも関西出身、美術大学卒業という共通点がありますが、実は今日が初対面なんですね。どうですか、今こうお会いしてお互いの生活をお聞きになり、いかがですか安田さん。



スペシャリストに憧れると話す安田さん

【安田】僕は（はしもとみおさんのことは）共通の友達がいたので聞いてたのでうらやましいなと思います。僕もホントはこういう1つのことを極めるスペシャリストになりたいと思っていて。周りの人を巻き込んでいろんな経験をしていきたいとも思っているんですが、器用貧乏なのでこういった1つのことに没頭するスペシャリストに憧れます。

【岩寄】スペシャリストに憧れるんですね、みおさんはいかがですか？

【はしもと】私は人見知りなので、安田さんのカフェで開かれる移住者同士で集まる機会にはなかなか参加出来ません。でも凄く憧れます。あとと思うのは、いなべって『いやらしい』観光地じゃないんですね。チェーン店が多い訳でもないし。



人見知りだが交流の場に憧れると話すはしもとさん

私にとって自然は大きなモチーフなので、そこがいいと思っています。

【岩寄】自然は大きなモチーフであると。動物も多いいなべ市ですが、みおさんは襲われたことはないんですか？

【はしもと】動物にですか？

【岩寄】襲われたという意味ではないと思うんですが、すごい寄って来てくれちゃったりとか。

【はしもと】鹿とかはね、結構気づいてからボーっとしてる時間があったりするんですね。目が合ってから。なんか2,3秒ボーっとしてたとかはありましたけどね。

地元の方達と方言について

【岩寄】なるほど。そんなこともいなべ市に住んでいたら身近なことなんですね。ではいなべ市に移住されてご近所とはどのような付き合いをされていますか？

【はしもと】私たち若い移住者が少ないっていうのを近所の方から聞いていて、本当によくしていただいていますね。ご近所といっても、田舎なのですぐ隣の家まで20m離れていたりとかするんですけど。私の制作活動を知って、おじいちゃん達が見学に来たりとか。あとはおじいちゃんが空に向かって空砲を撃ってるのを見かけたときは、振り返ってニヤッとされたりとか。



はしもとみおさん宅周辺に猿の集団が出現

【岩寄】空砲を撃つんですか、それは何のために？

【はしもと】私の家の前にお猿たちが大群でいたんで、それを追い払うために撃ってくれました。あと私は大きな木材を扱うので、フォークリフトも乗るんですね。そしたらおじいちゃんが見に来て、遠くから見ていたので『無人で動いてるんかと思った』と言われて。おそらく私の姿が見えなかったんでしょうね。



会場の様子

【岩寄】そういうことですか。女性が動かしているというよりも、何故人がいないのに動くんだと思われたんですね。なるほど。そんな地元のおじいちゃん達には方言とかありますよね、印象深いなべ語はありますか？

【はしもと】私は昨日安田さんとお話してたんですけど、めっちゃしぶいおじいちゃんが『行ってこにやあ』とか『にやあにやあ』いうんです。

【安田】にやあにやあ言うよね。

【岩寄】にやあにやあっておっしゃる、最後の語尾がにやあなんです。安田さんはびっくりした方言とかありますか？

【安田】びっくりした方言というか、未だに分らないですね、70歳超えてくると。まあ向こうはね、さも分かるかのように話しますよ。僕は9割くらい分かってないですね。



『にやあ』が印象的と話すはしもとさん



未だに方言が分らないと話す安田さん

【岩寄】うんうんうんってうなづいてらっしゃる感じで。

【安田】そうです。

あとは『おちゃくい』と『ごうわく』。

【岩寄】ごうわく・・・？

【安田】『ごうわく』。

【岩寄】ごうわくってなんですか？

【安田】あいつはおちゃくい、ごうわく。

【岩寄】全然分かんない。

どういう意味なんですか？

【安田】えっとね、おちゃくいっていうのは『やんちゃ』とか『いたずらっこ』という意味です。『ごうわく』っていうのは「業が沸く」ってことで腸が煮えくりかえるくらい腹が

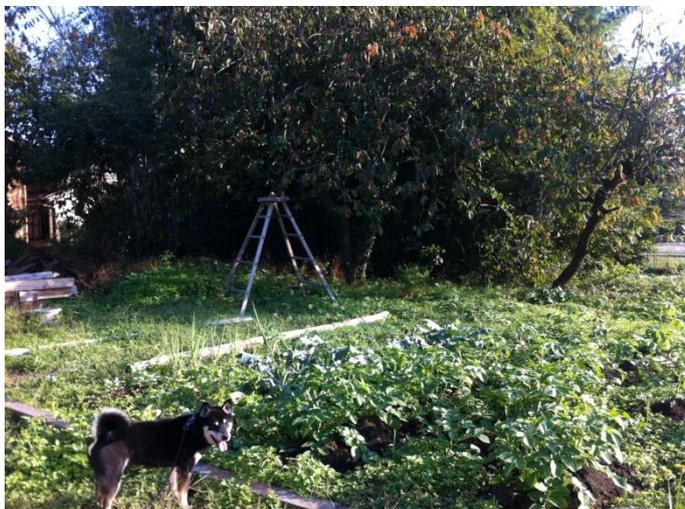
立つという意味なんですね。『あいつはやんちゃでいたずらするから、腹が立つわ』って言うてるんです。

自然と動物との付き合い方

【岩寄】なるほど。確かに意味を知らないと何語なんだろうかと思ってしまいますね。ではいなべに移住して新しく始めたことなどありますか？

【はしもと】やっぱり田舎暮らしって畑をしたくなるんですね。庭でブロッコリーとか、いろんなもの植えるんですけど全部新芽が鹿に食べられたり。

【岩寄】新芽を食べちゃうんですね。



畑の様々な野菜と月くん



薪ストーブの前でのんびりとくつろぐ

【はしもと】あと、お猿も大群で現れるんです。

【岩寄】それはみおさんはお家の中から眺めてらっしゃるんですか？

【みお】動物って寝ている間にくるんですね。だから朝起きたら庭の柿が全部なくなっていたりとか。

【岩寄】一晩でなくなっちゃうんですね。そうですか、月くんは動物に吠えたりしないんですか？

【はしもと】しないですね。(スライドショーを見ながら) これ普段の月なんですけど、こういう風に薪ストーブの前ゆっくりして。まあ何もしてないですね。

【岩寄】何もしてないんですね。

【はしもと】動物たちは畑を荒らしている最中、こんな風にくつろいでますね。

【岩寄】安田さんのお宅には動物が住みついていたりとかしますか？

【安田】僕の家にはモモンガが住みついていますね。ムササビより結構大きくて、空を飛ぶ姿は座布団が飛んでいるような感じで。家の中を座布団が飛びまわってます。

【岩寄】座布団が飛んでいるなんて、なんだかすごいですよね。お二人とも古民家をリノベーションして住んでらっしゃいますが、冬場の寒さはどうなんですか？

【はしもと】古民家って隙間が多くて逆にいうとエアコンなんかとてもじゃないけど効かなくて。30度にしても効かないんですね。なので、薪ストーブがないと冬は寒くて。

【岩寄】そうなんですか。薪をくべて、畑を耕して、なんだか毎日がキャンプみたいな生活ですが、大変ではないですか？

【はしもと】私達美術大学の出身なので、制作中は工房での寝泊まりが続きます。それこそ薪



冬には雪が降り、一面真っ白

場って言って陶芸される方は24時間工房で薪をくべる仕事なので、私達物作りの人間にとってはそれが生活の一部みたいなものなんですね。

【岩寄】毎日がキャンプみたいなもの、なんですね。みおさんはいなべに移住されて2年とお聞きしておりますが、自然と動物に囲まれた生活で何か変化はありましたか。

【はしもと】そうですね、やっぱり動物がただ好きっていう感覚じゃなくなるんですね。動物の飼育とかもそうですけど。やっぱりもちろん怖いものもいます。蛇、マムシとか。私住み始めた頃に、流星群を見ようと庭で寝転がってたんですね。そしたら近所の人に来て『マムシが出るぞ〜』って。『絶対したらいかんぞ』って注意されて。やっぱりそういう風に生き物というのは共存なので、怖いものもいる。なのでそういうことも住みながら分かってきますね。やっぱり共に生きるっていうことなので、過度に恐れて殺したりもしませんし、自然の流れに任せています。

移住に対する思いと交流

【岩寄】お二人は関西からの移住とのことですが、いなべ市に移住してまったく後悔はないんですか？

【安田】後悔はないですね。

【岩寄】どうですか、みおさんは。

【はしもと】まったくないですね。

【岩寄】毎日楽しく過ごされている？

【はしもと】はい。



MY HOUSE で月 1 回定期開催される『つぶつぶ交換市』。交流の輪が広がる。

【岩寄】そういう若いお二人ですが、これからそういういなべ市のいいところ、田舎暮らしのいいところというのを多くの方に知って頂きたいですね。安田さん、12 年前と比べていなべ市の生活はどう変化していますか？

【安田】僕が移住してきたころに比べて、若い移住者が段々と増えてきていますね。僕はお店で毎月 1 回、仲間達で集まって物々交換会を開催しているんですね。移住してきてる方って自営の方が多いので、たとえばパン屋さんだったりとか林業をやっている方とか。それぞれ皆で持ち寄って。パンを持ってきたりとか、薪を持ってきたりとか。あと子どもたちも自由参加で、たとえば鶏飼っている子なら産み立ての卵を持ってきたりとか、絵を描いてきたりとか。それで皆自己紹介して、プレゼンして物々交換をしているんです。

【岩寄】物々交換？

【安田】それぞれの生活の中での『つぶ』を交換し合うってことで『つぶつぶ交換市』と呼んでいます。

【岩寄】なるほど、その『つぶつぶ交換市』でいろんな情報交換もしたりされている？

【安田】移住のための空き家情報の提供とか、あと美術情報の提供とか。そういうような感じでどんどん輪が広がって行って。やっぱり移住ってなると中々友達ができなくて。このつぶつぶ交換市を通して仲間が増えていきますね。

2人から見たいなべの魅力

【岩寄】生活のつぶとつぶを交換し合う『つぶつぶつ交換市』素敵ですね。では最後にお二人にいなべ市のここが魅力、ここが凄い、という点を教えて下さい。



柴犬の月くんと等身大の彫刻の月くんの共演

【はしもと】いなべって無色透明で何もないんですね。でもその何もないっていうことは、本当に貴重なことなんです。私は仕事で各地に行きますし、いろんなところに住んできたんですけど、いなべみたいなおとろって珍しくて。住んでる人もピュアで素朴な人が多くて、変な風に染まっていないところが魅力だなと思います。

【岩寄】無色透明で貴重な町なんですね、安田さんはいかがですか？



田植えをする安田さん

【安田】地元の人はいなべ市を中途半端な場所だと言うんですけど、僕はいいポジションだと思っていて。ド田舎ではないし、みおさんが言うように無色透明で何も無いけど、それが一番の魅力だと思います。キャンプ場には関東からのキャンパーも増えてきてますし、オートキャンプをされる方なら、関東からだって遠くないんですよ。

【岩寄】なるほど。何も無いところが一番の魅力であると。お二人の暮らすいなべ市。自然の懐で、温かい人々と暮らす心のスローライフの姿が目に浮かんできます。関東の皆さんも是非、一度はいなべ市のステキ！を体感しにお出かけになってはいかがでしょうか？お二人共今日は貴重なお話をありがとうございました！